

## 第1学年 F組 芸術（美術 I）学習指導案

日 時 令和元年10月10日（木）5校時  
場 所 秋田中央高等学校 美術室  
授業者 伊藤 直哉

### 1 題 材 名 デザイン分野「情報伝達」

### 2 単元の目標

- 図や文字等視覚伝達で大切なこと、言葉の伝達で大切なことに目を向ける。
- 「伝達」してグループ内で確認し合い、改善することができる。

### 3 評価基準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
正確に「伝達」することを意識して観察や発言をする。	意見を出し合い、伝えるべき内容（条件）に合った伝達計画を練る。	伝達相手の考えを意識して表現方法を検討する。

### 4 これまでの授業について

表現を楽しむ姿勢はあるが、他教科では獲得している基礎知識、基本技能が足りてない面もある。

SSH 事業の「探究力」の基となり、「問題解決能力」の力としてもしっかりと「観察」は必須の能力であり、前期はデザイン分野で色を重視した制作を、夏からは観察と再現を重視した「中央高校の校舎を描く」制作を進めてきた。

### 5 題材について

デザイン分野の「表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現する」の中で、目的：内容を的確に伝えること。表現方法：文字、画像情報を元に言葉で伝達する。記憶してもらう。を取り上げる。

SSH の研究発表活動では、A1用紙への記述やプレゼンテーションソフトの活用、クラス・学年での発表の機会がある。「伝える」ことに目を向け、各年次での活動やポートフォリオの作成、AO入試、大学での学びにつながる題材を設定した。

自分が見ているものや、考えは言葉では「伝わらない」ことを体験させ、正しく伝える事の難しさを感じさせる。また、自分自身の印象に残る（記憶する）ことを意識させる機会を設ける。相手が理解してくれることを意識して「伝える」活動をするため、そして相手の印象に残る伝達方法を考えるためのきっかけとなる体験活動を行わせる。

